

券会（堀弘吉会長）の策後、さまざま年度体による支援が行われているが、われわれ研究会としても東北地方の方々を元気づけるため、何かしら注目の役員改選では、本年度の事業計画で

の事業報告や本年度の事業計画などが審議され、いずれの議案も満場一致で承認された。

技師まで「GAF」前橋市内の群馬県公社総合ビルで開催された。当日は県や市町村職員、業界関係者など、約

も、本日の研修会に非難に意義あるもの」と強調した。その後、研修会へと移行し、群馬県の橋梁長寿

5年以上経過

# 展開策積極へ増強会員

## 法定団体をアピール

### 建築士事務所協会が総会

群馬県建築士事務所協会（山田美光会長）は、26日、前橋市内のアニバーサリーコート・ラシーネで本年度通常総会を開き、本年度の事業計画を承認した。その中で、協会を積極的に増強する。総会であいさつに立った山田会長は、「協

会と建築士会のみが、建築士法で法定団体として認められている。ステイタスをあげ、会員を増強したい」と述べ、会員増強策として入会時の経済的負担を下げるため入会金を免除することを総会で承認を経て実施したい考えを明らかにした。こうした施策実施により「今年3月31日時点での会員数172社を、200社まで増やしたい」と目標を示した。

入会金無料  
会員証を制作

新たに制作したアルミ製の会員証を置いてあいさつする山田会長



高木市長



山崎課長

協会の発展を祈念  
業実施などを行う。議案の最後に上程された、入会金並びに会費に関する規則の一部改正について、正会員、協力会員、賛助会員とも5万円だった入会金を、いずれもなしとするもの。議案説明に立った小林副会長は「会員を増やすことが主目的」と説明し、会員の拍手で承認された。

入会金免除の施策について、総会後、本紙の取材に応じた山田会長は「日事連（日本建築士事務所協会連合会）のワーキンググループで、会員の数を現在の1万5000社から2万社にまで増強したいという議論があり、群馬会としても会員を増強しようとする意向を強めた。厳しい経済情勢の中だからこそ、初期費用の負担軽減を図る必要がある。当面続ける」と述べ、これまでに数社が入会したことも明らかにした。さらに、「協会



員外の事務所と差別化を図り、自覚と誇りを持つように」との理由で、事務所協会の証として、バッジとアルミ製の会員証を作成した。

総会後に開かれた懇親会で山田会長は冒頭、こうして会員増強策を説明し理解を求め、「今後、技術の研鑽を図りながら、より良い設計をし、より良い建築物を群馬県に財産として残していきたい」と決意を述べた。こうした協会の取り組みに対し、来賓祝辞で群馬県知事代理で県建築住宅課の山崎伸一課長は「指定事務所登録機関として、今後技術力を発揮し、県民生活向上と県政発展に協力」と述べると、前橋市の高木政夫市長は「協会皆様の活動が、建築文化や地域社会に多大な貢献をされている」と称え、今後のさらなる協力を求めた。



群馬県建築士事務所協会（原初林支部）は24・25両日、震災被災地のため、宮城県

## 被災地に救援物資